

[施策名：資材の生産・流通の合理化・効率化]

[担当：労働資材対策室]

残コン等実態把握及び検討

○施策の概要

生コンクリートの製造、出荷により発生する残コン、戻りコンの有効活用するため、「セメント・生コンクリート流通方策改善委員会に」において、平成9年6月に残コン・戻りコンの発生低減および処理促進を要請。

全国生コンクリート工業連合会では、スラッジ対策部会を設け、平成9年度よりスラッジ処理の現状調査および対策の検討を開始した。

○施策の進捗状況、継続性

スラッジの有効利用方法を検討するために必要となる基礎資料を得ることを目的として、スラッジ処理に係わる実態調査を実施し、有効利用方法の研究開発とその実用化を検討中。

○施策の効果

残コン・戻りコンの発生により生じる年間の総廃棄費用は150億円（全生工組連、生コンクリートのスラッジの実態に関する報告書）といわれており、その低減が生コンクリート価格の低下に繋がる。

○施策による縮減額